

第4回東日本夏季競漕大会の運営について

令和元年9月17日
一般社団法人東京都ボート協会
競技本部

いつも弊協会の大会運営へのご理解とご協力、ありがとうございます。

さて第4回東日本夏季競漕大会については、過日大会要項を公表し、各クルーの出漕申し込みを頂き、大会スケジュールと組合せを弊協会HP上へアップ致しました。

ここで今大会の実施に際し、その運営方法を通常とは変更しておりますので、以下説明致します。

ご承知の方も多いと思われませんが、本年も戸田コースでの藻の繁殖が著しく、しばしばそれが艇の航行に支障を与えており、関係各位のご努力にもかかわらず、なかなかそうした状況は抜本的には改善されておられません。

このため今回の東日本夏季競漕大会では、こうしたコース及びエントリーの状況を踏まえ、以下の様に実施要項を変更致します。今回HPにアップした大会スケジュールと組み合わせもそれに基づいております：

1. 競漕水域

藻の増殖が著しい水域を回避するため、各レースは基本的に2～5レーンを使用した最大4ハイレースとします。

2. 勝ち上がり方式

上記変更のため、通常弊協会採用している6ハイレースを前提とした方式を4ハイレースに組み直して適用します。

表. 本大会における勝ち上がり方式

エントリー数	予選			決勝
	レース数	上りクルー		レース数
		着順上り	タイムによる上り	
1~4	—			1
5~8	2	各レース 1位	上位2ハイ	2
9~12	3		上位1ハイ	3
13~16	4		無し	4

各レースにおけるレーンは、予選は抽選により、決勝は権利の強い順（その前のレースの着順及びタイム）に従い、原則 3→4→2→5 の順に割り当てます。なお当日のコース状況により、使用レーンの変更を行う場合があります。

3. レースの進行について

以上のように、今回は藻の影響をできるだけ回避した形で運営していきますが、それでもそれらを皆無に管理することは不可能であり、いわばコントロール下に置けない自然現象によるものなので、レース中藻による危険な状態が生じた場合、適宜審判より艇の進路変更や進行停止等の指示を下すことがありますので、それに従って下さい。また例えば藻により漕ぎにくかった等の理由で再レースを求める様なアピールは認められません。

以上、自然現象とはいえ、通常ではない状態で大会を運営せねばならない今回の事情に関し、関係各位の御理解とご協力をお願い申し上げます。

また今後共状況により大会運営について適宜必要事項を伝達する場合がありますので、引き続き弊協会の HP にはご注意をお願い致します。

以上